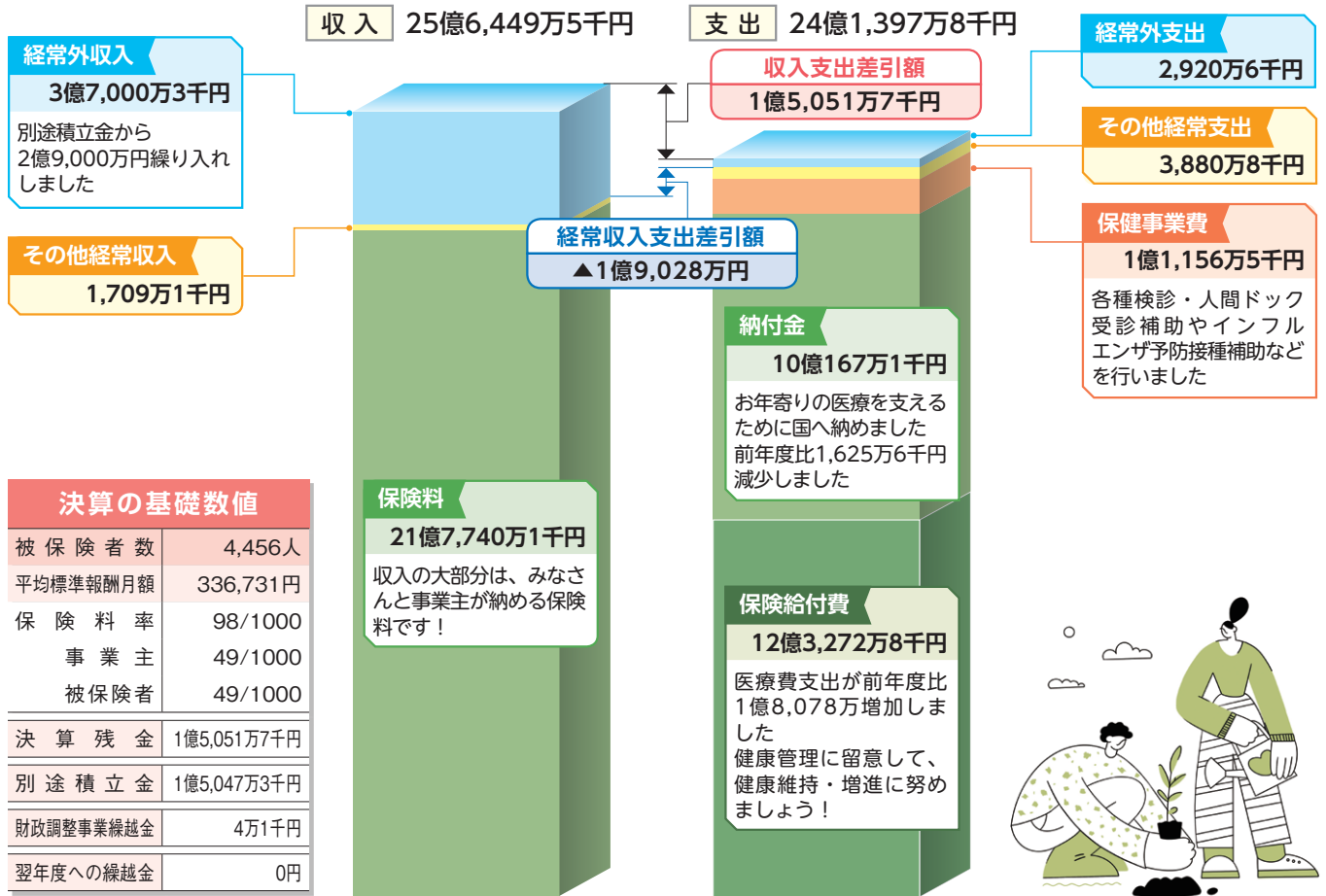


令和4年度 決算のあらまし



先の組合会において、当健康保険組合の令和4年度決算が承認されました。
その概要をお知らせします。

健康保険

経常収支差引額 ▲1億9,028万円

収入では、被保険者数および平均標準報酬月額の前年度とほぼ同水準ながら、年間総標準賞与額が前年度と比べ増加となったことから、保険料収入が前年度比5,882万7千円増加しました。

支出では、高齢者医療にかかる拠出金等は対前年比1,625万6千円の減少となったものの、保険給付費において新型コロナウイルス感染症の感染拡大等による本人

医科外来医療費および家族医科入院医療費ならびに傷病手当金の支給額が大きく増加し、前年度比1億8,078万円と大幅に増加しました。

組合財政の健全性を示す経常収支差引額は1億9,028万円の大幅な赤字となりましたが、別途積立金からの繰り入れ等により、収入支出差引残高は1億5,051万7千円となりました。

介護保険

収支差引額 938万5千円

前年度に引き続き、介護保険料率を据え置いた結果、介護保険収入は2億990万2千円となりました。

一方、支出である介護納付金は2億751万7千円となりま

したが、介護準備金からの繰り入れもあり、収入支出差引残高は938万5千円の黒字決算となりました。

健保組合を取り巻く状況

健康保険組合連合会(健保連)が公表した「令和5年度健康保険組合の予算早期集計結果(概要)」によると、保険料などの経常収入は、前年度比2.7%増の8兆6,161億円、医療費などの経常支出は5.9%増の9兆1,784億円となり、経常収支は5,623億円の赤字となる見通しです。赤字組合は前年度から130組合増となり、約8割の組合が赤字となる予測です。

収入では、保険料収入は対前年度比2.8%増の8兆5,038億円となりました。一方、支出では、保険給付費は5.5%増の4兆7,820億円となり、前年に引き続き高い

伸び率を維持しています。また、高齢者等拠出金は、前年度の一時的な減少の反動から7.3%増の3兆7,067億円となり、とくに後期高齢者支援金が9.9%と大きく増加しています。

令和5年度以降も新型コロナウイルス感染拡大等の影響が不透明であり、高い水準で推移する医療費の動向を注視していく必要があります。また、高齢者等拠出金は令和6年度以降も増加が見込まれ、今後もますます厳しい状況が続くことが予想されます。

介護保険の収支

決算の基礎数値

徴収対象第2号被保険者数	2,305人
平均標準報酬月額	358,379円
保険料率	18/1000
事業主	9/1000
被保険者	9/1000
決算残金	938万5千円

収入

科目	金額
介護保険収入	2億990万2千円
繰入金	700万円
収入合計	2億1,690万2千円
準備金への積立	938万5千円

支出

科目	金額
介護納付金	2億751万7千円
支出合計	2億751万7千円
翌年度への繰越金	0円

令和4年度に実施した主な保健事業

保健指導とPR

- ▶機関紙「健保だより」…ホームページ、AIFジャーナルに掲載 [4・8月]
- ▶小冊子「社会保険の知識」…新規入職者に配布 [4月]
- ▶育児月刊誌「赤ちゃんと!」…出産された被保険者(配偶者分娩を含む)に配布。対象者141名

- ▶医療費通知…該当する被保険者・被扶養者に通知 [2月]
- ▶健康ポータルサイト「Pep Up」…ウォーキングラリー、体重測定チャレンジ等健康増進イベントを実施。健康年齢を通知、ジェネリック医薬品差額通知等を対象者に通知 [7月よりスタート]

病気の予防

- ▶特定保健指導…40歳以上の被保険者・被扶養者のうち、生活習慣病の発症リスクを持つ人に保健指導(積極的支援・動機づけ支援)を実施。受診者延べ347名
- ▶人間ドック…健診費用を一部補助。満35歳以上の被保険者・被扶養者対象、受診者2,233名
- ▶脳ドック…健診費用を一部補助。満40歳以上の被保険者・被扶養者対象、受診者4名

- ▶口腔内ケアセット…「歯と口の衛生週間」に併せて全被保険者に配布 [6月]
- ▶インフルエンザ予防対策…予防接種費用を補助。全被保険者を対象に実施 [11月]

体育奨励

- ▶プール利用斡旋…指定施設での利用者に斡旋。利用者71名

- ▶関西サイクルスポーツセンター…利用者の補助。利用者数57名